

不法投棄物を一斉撤去

関係者約120人が参加

奈良産廃協



(一社)奈良県産廃業協
業協会(北川秀修会
長)は3月13日、県や
市町村、県警本部と協
力し、県内の不法投棄
物の一斉撤去を実施し
た。協会員や市町村関
係者約120人が参

加。19市町村で撤去作
業を行い、使用済み家
電製品やタイヤなど約
200トンを回収した。
朝の出発式で、同協
会の北川秀修会長は、
「春の観光シーズンを
前に大和路から不法投
棄物を少しでもなくそ
うと、毎年3月

年1回開催し23回目を迎える

に一斉撤去を行
っている。関係
者皆さまの協力
のもと、今回で
23回目を迎え
た。足場の悪い
現場もあり、十
分気をつけて作
業に当たって欲
しい」とあいさ
つ。

続いて、奈良

県くらし創造部景観・
環境局廃棄物対策課の
西井保喜課長が「不法
投棄を抑制し、根絶し
ていくためにも、本日
の一斉撤去は大変有意
義な活動。協会員各位
の活動、その熱意が県
民に広がることもつ
と美しい県土、きれいな
生活環境が創り出さ
れていく」と述べた。

参加した協会員らは、
4トロールオン車など
42台の車両に乗り込み、
各担当地区に向けて出
発。奈良市や生駒市、
宇陀市など19市町村で
撤去作業に当たった。
最も不法投棄物が多か
った宇陀市には、集積
地の榛原護美センター
に9台の収集車が向か
った。今回の一斉撤去
では、タイヤの不法投
棄が目立ち、収集に当
たった現場1カ所で最
大70本確認された。